

どのした淵

【グループボランティア活動実施】

多くの皆さん(49名)の参加により公民館及び周辺の清掃がなされ、綺麗になるとともに、河積が除去され水の流れもよくなりました。

何より「どのした淵」の環境整備がなされ、高峯の名所がまた一つできました。参加いただいた皆さんご苦労様でした。



【ガラッパで賑わう どのした淵】

7月18日(日)パッククラブフト&SUP体験会には高峯親子会員はもとより、白男川の育成会員を含め40名を超す参加者で大賑わいでした。環境整備に御協力いただいた皆さん、お疲れさまでした。そして有難うございました。どのした淵を核とした『遊び空間づくり』を実現したいな。引き続き御協力よろしくお願いいたします。



発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

☎ 54-2344

090-1089-9432

8月1日発行



【看板設置しました】

どのした淵の安全利用・駐車場の利用に係る看板並びに河津桜の植栽経緯に係る看板を設置しました。取りあえずあったもんで作ってみました。

区活性化委員会で、『ふるさとの史跡と伝承』をリニューアルし、製本化する事業に取り組んでいることは、先号で紹介しました。追事業として公民会毎に史跡をピックアップし、説明看板を作成する計画です。さららの里の史跡マーキング事業(仮称)までのつなぎ、誘因になればいいかなと思います。

どのした淵の名称は、この付近に布教?のためのお堂があって、「堂の下淵」からきているとのことです。関係あるか無いかはわかりませんが、肝付さん宅の入口近くには、本尊薬師如来 天文11年(1542年)12月11日再興の棟札があったとの記録が残る薬師堂があります。

※『薬師堂』は薬師如来を本尊とする仏堂の名称であり、『薬師堂』特有の建築様式、平面図等があるわけではない。薬師如来は病氣平癒の仏とされる。《ウィキペディア抜粋》

コロナ禍の今こそ敬うべきかもしれませんね。

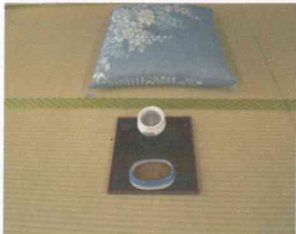


【五月供養 全世帯参加で無事終了】

7月4日（日）にお勤め頂いた五月供養及び懇親会は、全世帯参加（免除世帯2件・頼み世帯4件）の下、厳かにそして賑々しく無事終了しました。懇親会では上之原さん（柏原在住）、大平悦子さん（宮之城屋地在住）から頂戴していたドリリンク・氷菓子・焼酎が振舞われ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。焼失していた仏具も、今まで皆さんがお供えくださった焼香代の積み立てで新調しました。

また、18日のグループボランティア活動時に作った七夕飾りの短冊も書きました。

ご参加いただいた皆さん・当番さんご苦勞様、そして有難うございました。



【ふるさとの史跡散歩・高峯編】

6 椿峠（つばきとうげ）

紫尾高千穂工業の下のが、昔は峠になっていた、道路わきに大きなやぶ椿が数本ありました。早春には花をいっぱいつけ、夏は緑陰（かげ）をつくって憩いの場（徒歩通行の頃、一息入れる所）となっていました。このゆかしい地名は、元紫陽中学校の女生徒たちが、昭和20年代に付けたと言われています。この峠からは、母ヶ野井堰（かけはしの所）の先の曲がり角がよく見え、出兵兵士や小学校の先生方の異動出発の見送りに必ず使われていて、『涙』と『バンザイ』の場所でした。

道路の拡幅工事で峠も緩やかになり、椿も無くなったので、このままでは残念だと宮之城屋地の（故）黒木勉志氏の肝いりで、昭和58年頃3〜4名の協力を得て椿を植栽することになり現在数本の椿が育っています。

リサーチ情報 梅樹正義さんによると、峠にあった椿は、林田内科の別荘が霧島にあり、そこに移植されているとのこと。自分たちも遊び場で思い出がいっぱい詰まった椿なので、機会があれば再会に訪れたいものです。



編集後記

「田の神やあつたてん」

今年度初めての試みの、グループボランティアによる公民館及び周辺清掃に併せて、青少年育成事業としてバックラフト&サップ体験会をどのした淵で実施しました。社会教育係の出席講座K・Y・T（危険予知トレーニング）や、高校魅力化事業で地域おこし協力隊としてさつま町に来ている、鹿児島大学4年生門之園梨生さんが高校生と供に参加し、更にはさららの楽校から久徳君が白男川の学童を連れて来てくれて、にぎやかに楽しく実施することが出来ました。南日本新聞にも掲載されたので、この夏、どのした淵が おめがけね 賑わうかもしれませんよ。入り込み人口を増やし、そこにビジネスチャンスを見出すため、地元民も快く、明るく、朗かに受け入れ、接していきたいものです。訪れた人々が、どのした淵を楽しかった夏の思い出として、記憶のアルバムの一ページに綴ってもらい、また来てくれたらうれしいな。小学生が絵日記に書かないかな〜!!

未来予想図として、どのした淵から泊野インター下までのさらら川沿いの遊休農地を活用し、キャンプサイトとして貸出し、荒廃農地とさらら川の有効活用につなげられたいいなうなんて夢を抱いています。更に、川の駅としてきちんとした物品販売所『椿峠茶屋』を造り、『いなかのうんまかもん』の物販が出来たらなお最高です。

高峯公民会